



# 新聞まさひこ通信

## あけぼの曙

発行責任者  
福岡県議会議員  
新開昌彦

福岡市早良区曙 2-1-35

Vol.29 平成 17 年 5 月 3 日発行

## 福岡県西方沖地震

3月20日午前10時53分頃、福岡県西方沖を震源(深さ9km)とするマグニチュード7.0の地震が発生。

この地震で亡くなられた方に心からお悔やみ申し上げます。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

私は、震度6弱の揺れを自宅の2階で経験しました。グラツときた瞬間、私は、タンスを押さえるのが精一杯。タンスを押さえながら「火災が起こる」と観念しましたが、幸い一軒も起きませんでした。

公明党本部は、直ちに災害対策本部を立ち上げ猛烈な勢いで情報収集、対応を開始。公明党の真骨頂が災害現場でも展開。その一員として私は、現場を動き回った。

議会中でもあり、直ちに調査を基にして質問。知事に11項目の要望を行い知事は「ご指摘の点は早急にやっていきたい」と回答。

公明党は、福岡市、政府にも要請を行い復旧活動に全力を挙げました。

4月2日には、神崎代表が、福岡中央卸売市場、中央埠頭、玄界島、西浦、中央区マンション、志賀島を調査。

同行した私は、麻生知事と山崎市長に直接要望した。

麻生知事には、災害救助法の適応を受けていない市町村も同様に支援すべきと要望。

山崎市長には、玄界島の仮設住宅は、渡船の出発時間が遅く期限に完成しない。午前7時の船便を復活すべきと指摘。

この二つの要望は直ちに実行されました。



21日 玄界島を調査。島が崩れていた



24日ドアが曲がり壁に亀裂、中央区のマンション



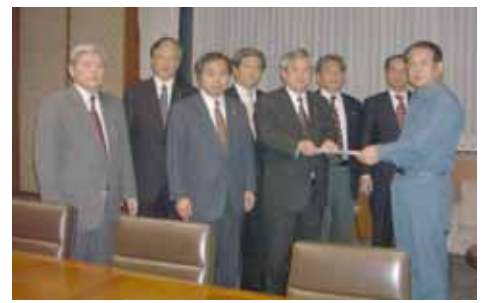
26日前原市のマンションも半壊していた



4月2日 神崎代表と西浦の農家を調査



知事に要望と懇談



22日 災害復旧の要望を知事に提出

新開昌彦のホームページ <http://www.shinkaimasahiko.com>

## 議会報告【一般質問から】

### 障害者施設の利用者の泣き寝入りを許すな

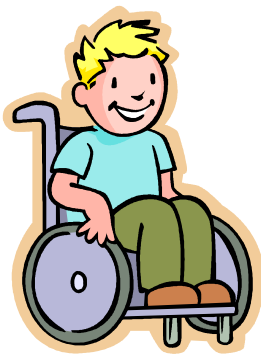


事件が起きたカリタスの家

私は、障害者の虐待事件をおこしたカリタスの家を通して、利用者が泣き寝入りしなくて済む制度を確立するため質問しました。

利用者や利用者の保護者は、苦情を言えば障害者を預かってくれない。だから少々のごときは我慢しようとしている。私は、県に障害者施設の苦情解決委員会の実態を調査するよう追及し、地域の方や家族の代表を加えた評議員会の設置もあわせて調査するよう求めました。

この事件が、きっかけとなり国も「障害者虐待防止法」を制定する方向になりました。



### 特殊学級の設置基準を一人から

特殊学級の設置は、県が、市町村からの相談に同意すれば設置されることになっています。

しかし、福岡市と北九州市は、県が三人の障害者がいなければ同意しないとして相談もしていませんでした。今回の私の質問で、特殊学級の設置に関しては、条件が揃えば一人でも設置するという答弁を引き出しました。

今後、両政令市も設置に向けた努力をしていただけると確信します。

## 新聞昌彦県議活動レポート

### 2月7日 移動知事室に参加して

私は、移動知事室に同行し、早良区の拓新産業(株)と西新商店街を訪問しました。

拓新産業(株)(藤河次宏社長)は、平成16年度福岡県男女共同参画企業賞を受賞、「子育て応援宣言」企業として登録。年次休暇の消化率はほぼ100%です。

私は、知事と女性社員との懇談に参加しました。「産休から復帰できました」「お互いにバックアップできるので働きやすい」藤河次宏社長は「会社が社員のために積極的に環境を整えようとすると社員が仕事で応えてくれるんですよ。業績も悪くありません。」と笑顔でした。

次に西新商店街(徳永利光連合会長)を訪問。

知事も、商店街を歩き、お店から「あっ、知事さんや」と声をかけられていました。

西新公民館では、今後も地域一体の商店街を作るために「一町一祭運動の提案」「祭りの実施のための道路使用許可などの手続きの簡素化」「お年寄りが買い物しやすくなるような安全対策」「防災、防犯対策」「放置自転車、ごみ対策」など活発な意見があり、知事も大変前向きに応えました。

私は、地位が高い人ほど現場主義に徹しなければならないと思いました。



拓新産業(株)の女子社員の皆さんと



知事と徳永連合会長の案内で西新商店街を歩く